

# PGSホムさんの情報

## 新聞掲載情報

PGSホムさんは、新聞で知名度が取り上げられているようです。

どのような記事で掲載されているのか、チェックしてみてください！

2017.09 金ナノ粒子を効果的に配置した  
色素増感太陽電池用ナノポラス酸化チタン電極の開発

2017年9月7日

株式会社PGSホーム

報道関係各位

金ナノ粒子を効果的に配置した色素増感太陽電池用  
ナノポーラス酸化チタン電極の開発  
(株) PGSホーム

株式会社PGSホーム(本社:大阪市東成区、代表取締役:池口 護)は、奈良先端科学技術大学院大学の石河泰明准教授と共同で、酸化チタン層と金ナノ粒子層を積層に形成することによって金ナノ粒子を効率的に配置した色素増感太陽電池用のナノポーラス酸化チタン電極の開発に成功した。

色素増感太陽電池は、製造プロセスがシンプルで生産コストが低く、環境に優しい次世代の太陽電池として活発な研究開発が行われている。しかし、エネルギー変換効率が十分高くなく、その解決策の一つとして、負極のナノポーラス酸化チタン層中に金や銀のナノ粒子を均一分散させて、表面プラズモン共鳴や光散乱により増感色素の光吸収を高める方法が提案されている。

当社と奈良先端科学技術大学院大学の石河泰明准教授は、色素増感太陽電池の変換効率と酸化チタン中における金ナノ粒子の位置との関係に着目し、増感色素の最大吸収波長の光が到達するまでの酸化チタン層内に金ナノ粒子を分布させ、到達深さ付近における金ナノ粒子の濃度を高くすることによって色素増感太陽電池の変換効率を効率的に向上できることを見出した。

最大吸収波長光の到達深さ付近において高濃度の金ナノ粒子の凝集が観察され、光を散乱したと考えられる。

酸化チタンに金ナノ粒子が含まれない時と比較して、大きさ約40nmの金ナノ粒子を使用した場合、変換効率が約11%向上した。金ナノ粒子の大きさを変えることで、あるいは、酸化チタン層中の位置に応じて金ナノ粒子の大きさを変化させることで、変換効率を更に向上できることが期待され、今後、本技術を用いて色素増感太陽電池の更なる高性能化に繋げたい。

本研究成果は、シュプリング어의オープン・アクセス国際誌「ナノスケール リサーチ レターズ」に掲載された。

【リリースについてのお問合せ先】

株式会社PGSホーム 担当:中根・真弓 TEL:06-6981-3914 FAX:06-6981-3934

2017.01 太陽光発電の専門メディア PVeye 2017年1月号に掲載



同社オリジナルパネルの設置風景



同社が施工した住宅

住宅塗装を手掛けるPGSホーム（大阪市東成区、池口護社長）がこのほど、自社オリジナルの住宅用太陽光発電システムの販売を強化している。新電力の

# PGSホーム、住宅向けにオリジナル太陽光システム 本格拡販へ

携し、同システムを設置したユーザーに対して坊っちゃん電力がFIT価格より5円高く買取るスキームを組んだ。住宅市場で他社との差別化を図る狙いだ。同社は16年夏より自社ブランドの太陽光パネル、「ベガサソーラー」を使った住宅用太陽光システムを売り出した。パネルは単結晶型で出力が77Wと220Wの2種類、変換効率ともに20%だ。PCSはオムロン製を採用した。

内部監査室の村上典洋室長は、「同じ製品でもパネルの出力によって変換効率が変わる製品もあるが、当社の製品は性能が一定で、様々な屋根形状に対応

できる」とアピールする。同システムのメリットは、坊っちゃん電力によるプラス5円買取りに加え、PGSホームが直売するため、価格調整の幅が広く、競争力を発揮できる点だ。村上氏は、「今後、買取単価は下がっていくだろうが、自社システムであればプラス5円での買取りという価値を提供できるので、まだまだ住宅用で事業を継続できる」という。

自社パネルの受注は現時点で30件ほどだが、「実績を積み、知名度を上げながら販売数を伸ばしていきたい」と村上氏は展望を語る。

同社の16年9月期の太陽光関連の売上高は前期比8%増の42億円だった。既築住宅向け太陽光発電設備の受注件数は約220件と前年並みだったが、平均設置容量が増え、微増で推移した。16年夏に発売した自社システムの販売を強化し、今期は5億円を目指す。

2016.04.27 毎日新聞 暮らしっくに掲載

暮らしに関わる最新情報をマンスリーでお届けします

## 暮らしっく

太陽光発電に注力 PGSホーム

PGSホームのソーラーパネル

### 余剰電力 割高買い取り中

春先の残り外気温上昇すると、電力固定価格買い取り制度（FIT）の価格が下がり、太陽光発電もより高値で買い取り、電力会社への売電収入が減少する。PGSホームは、この状況を踏まえ、余剰電力の買い取り価格を割高に引き上げ、顧客の利益を最大化する。この取り組みは、顧客の満足度を高め、同社の競争力を高める。また、この取り組みは、環境に優しいエネルギーの普及を促進する。PGSホームは、今後もこの取り組みを継続し、顧客の利益を最大化する。また、この取り組みは、環境に優しいエネルギーの普及を促進する。PGSホームは、今後もこの取り組みを継続し、顧客の利益を最大化する。

### 設備設置と特定の電力会社との契約条件

設備設置と特定の電力会社との契約条件。PGSホームは、太陽光発電システムの設置と、特定の電力会社との契約条件を明確にしている。この契約条件は、顧客の利益を最大化し、環境に優しいエネルギーの普及を促進する。PGSホームは、今後もこの取り組みを継続し、顧客の利益を最大化する。また、この取り組みは、環境に優しいエネルギーの普及を促進する。PGSホームは、今後もこの取り組みを継続し、顧客の利益を最大化する。

2015.05.24 読売新聞(近畿版/朝刊) 全面記事広告



**創省蓄** 12.15  
**エネルギー**

**新着情報ファイル**

◇PGSホームなど、次世代太陽電池実用化へ  
 PVシステム販売・施工会社のPGSホーム（大阪市）は4日、奈良先端科学技術大学院大学と共同で研究してきた色素増感太陽電池に使用される高耐久性電解質の開発に成功したと発表した。微弱な光でも効率よく発電できる色素増感太陽電池は次世代太陽電池として有力視されている。このほど開発した技術が実用化されれば低コストで経年劣化の低い太陽電池となり、発電コストが大幅に削減できると期待される。研究成果はドイツ科学誌「ソーラー・エネルギー」電子版に掲載された。

色素増感太陽電池は、従来の製造方法では電子を受け渡す役割を担う電解質の耐久性が低いため、またたく間に劣化するという弱点があった。PGSホームは3年後の実用化に向けて量産技術の開発に取り組む。

2014.11.27 毎日新聞 暮らしっくに掲載

暮らしに役立つ最新情報をマンスリーでお届けします

**暮らしっく**

**光触媒コーティングのPGSホーム**

**施工付随費無料キャンペーン**

外壁きれいになり、耐用年数アップ



毎日新聞 11月27日(木)

2009.10.26 産経新聞に広告掲載

<b>新産経</b>	平成21年(2009)日刊24033号	購読のお申し込み 0120-34-3733 (平日9時-19時、土日祝日9時-17時) <a href="http://www.sankei.co.jp/reader">http://www.sankei.co.jp/reader</a>
	<b>10/26</b> 月	購読に関するお問い合わせ 06-6981-3914 (平日9時-17時) o-hanbai-css@sankei-net.co.jp
産業経済新聞(サンケイ) THE SANKEI SHIMBUN		購読への意見・お問い合わせ 06-6981-3922 (平日9時-17時) o-dokusha@sankei-net.co.jp
発行所: ©産業経済新聞大阪本社 2009 〒556-8602 大阪市東区東今里2-1-57		
大阪 06-6981-1221 (広告部)		

TV情報番組にも取り上げられた話題商品

## スーパーチタン プロテクト-V

可視光反応型  
可視光(蛍光灯)で反応する光触媒塗料

スプレータイプも販売中

誰でも手軽に使えるスプレータイプも開発しました。  
【使用例】マスク(外側)の布、ドアノブ・電話機などに

### 安全で豊かな環境づくり

「スーパーチタンプロテクト-V」を塗った壁は、インフルエンザウイルス等の繁殖を抑制する効果があります。

※インフルエンザウイルスに対する繁殖抑制効果は、農林水産大臣認可の(財)日本食品分析センターの試験結果により確認されています。

〒537-0011  
大阪市東区東今里2-1-8 PGSビル

【お問い合わせ】  
**06-6981-3914** (PGS) PGSホーム  
株式会社PGSホーム 光触媒塗料担当まで <http://www.pgs-home.jp/>

一意的なソリューション ID: #1105

製作者: ミスティッA

最終更新: 2017-09-19 18:31